

在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

健康づくり講演会（若葉台地区健康づくり推進委員会：若葉台地区公民館）

テーマ 「あなたの知らない健康づくりの世界」～健康づくりは、地域づくり～
 日時：平成30年3月10日（土） 10：00～11：30
 場所：若葉台地区公民館（鳥取市）
 参加者：33名

【内容】

◎講師：鳥取市立病院 総合診療科 懸樋英一 医師

◆ 健康づくり講演会の中で、心づもりパンフレットの内容（ACP）説明とグループワークを行いました。



（概要）

健康への影響は社会的要因が一番高いこと、生活習慣病は医療と同じく禁煙・食事・運動など予防（保健）や健康な生活習慣が送れる環境も大切なこと、交流、社会参加のある地域は健康的な生活を送ることができる等、健康づくりには地域づくりも大切というお話を聞きました。そして生き甲斐とは何か？というお話と、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について説明いただき、参加者でグループワークを行いました。



(参加者の主な意見：ACPに関すること)

- ・延命治療はしないでと、家族と話している。
- ・身近で胃ろうを見ていて辛かった。自分はして欲しくないと思った。
- ・家族と話してみたいと感じた。
- ・せっかくこのような話を聞いたので、帰って家族と話してみたい。
- ・配偶者や子どもが困らないように、話しておかないといけないと思った。

(事務局の感想)

健康や生活習慣病について、その原因だけでなく原因の原因の原因まで掘り下げて、社会的決定要因が最も健康に影響していることなどをわかりやすく解説いただきました。ACPについては、協議会作成のパンフレットの内容を利用して説明されました。グループワークは最初おとなしめに始まりましたが段々活発となり時間が足りないほどでした。医療（病院）の現場でも、意思を伝えられなくなった患者さんのご家族が今後の治療決定について苦慮されていること、家族に任されたその治療が今考えてお話ししてもらった内容と一致しているとは限らないので家族で話し合っておくことが重要という講師からのお言葉で講演会終了となりました。懸樋先生ありがとうございました。

東部医師会在宅医療介護連携推進室 橋本渉（若葉台在住）